



ななほ

市民の友

第694号 毎月1回発行
2008年(平成20年)

11月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2008(平成20)年9月末現在	
総人口	316,075 (2,143)
男	152,349 (1,103)
女	163,726 (1,040)
世帯数	132,468 (1,301)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	94,256
真和志	104,259
首 里	58,080
小 禄	57,337



秋空に響く「ハーイヤ!ハーイヤ」

第38回那覇まつり

10月11日(土)、華やかな市民演芸・民俗伝統芸能パレードで幕を開けた第38回那覇まつり。

今年も国際通りや国道58号の久茂地交差点周辺、奥武山公園を舞台に10月13日(月)までの3日間、多くの市民、県民、観光客が会場を訪れ、盛大に開催されました。

まつり2日目の12日には、勇壮な「旗頭行列」が行われた後、ギネスブックにも認定されている世界一の大綱を使った「那覇大綱挽」が行われました。

全長200m、総重量43トンの大綱は、綱引衣装ムム又チハンターに身を包んだ翁長市長と湖城英知那覇大綱挽保存会会長の審判旗の振り下ろしの合図で、一斉に挽き始められ会場は約1万5千人の東西の挽き手による熱気に包まれました。

熱戦の結果、開始6分過ぎに東が約5メートル引き込み、3連勝を飾り、これで対戦成績は12勝12敗12引き分けの五分の結果となりました。

まつりの3日間を通して、奥武山運動公園で行われた「那覇まつり市民フェスティバル」では、県内でも珍しい台湾屋台も出店され、多くの方々に賑わいました。

また、パレード会場や大綱挽会場では、「ひるえび街が好きになる」をテーマに、昨年に引き続きJ・T沖縄支店主催のボランティア清掃活動も行われ、アルビニストの野口健さん、も来場者と一緒に会場のゴミを拾い、爽やかな汗を流していました。

主な紙面

あなたも始めてみませんか?
環境にやさしい買い物について
11月16日は那覇市長選挙及び
市議会議員補欠選挙です
障がい者が地域で安心して暮らせる
社会の実現をめざします
情報PACK

6・7 4・5 3・2

協働のまちづくり つむぎ 那覇を紡ぐ

40

市では、協働によるまちづくりを進めるために、「なはのまちを考える講座」と題して、「まちづくりとは?」、「市民とは?」、「行政とは?」、「協働によるまちづくりとは?」などを考える講座を開催しています。

講座には、まちづくりに関心のある大学生や市民のみならず、NPO関係者や自治会などに関わっているみなさん、行政職員まで幅広い人たちが参加し、ワークショップ形式の中で、互いに議論し学びあっているところだ。

その講座運営のパートナーであるNPO法人コミュニティおきなわの石原絹子代表は「お互いの信頼関係をベースにして、参加者主体の運営を目指したい」と参加者相互の関係作りのための簡単なゲームから講座がスタートするなど工夫をこらした運営を心がけています。

その趣旨に沿うように、「参加者全員が発言できるように」と、発言は一人2分以内などの「参加のルール」を参加者でまとめるなどの展開も生まれ、主催者である市民協働推進課としても成果を見守っていきたいと考えています。

これまでに開催された4回の講座では、市の第4次総合計画の概

みんなで学ぼう 協働のまちづくり

要や、他の市町村の事例を学ぶために南風原町のまちづくり関係者市内でNPOとして活動している方々、市内の自治会長を招き、活動を開始したきっかけ、課題や行政との関わりなどを、実践者から直に語っていただきました。

その中から「互いの役割を尊重することが大切」などという気づきの声も聞かれ、つながりと学びあいが進んでいると感じています。

前期は、11月1日で終了しますが、来年1月には後期が始まります。

そして3月には、参加者と意見成果を広く発表する機会を持つ予定です。

市民のみならず、参加者のみなさんが「なはのまちを考える講座」で学んだ成果にご期待下さい。

市民協働推進課



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。



参加者相互の関係作りのために簡単なゲームから講座がスタートしました。

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。
☎862-9942 秘書広報課

再生紙を使用しています。